

## 臨床研究

### 「腹部ステントグラフト内挿術後のタイプⅡエンドリークに対する IVR : 技術的側面と予後についての後方視的研究」 について

筑波大学附属病院放射線診断・IVR科では、標題の臨床研究を実施しております。  
本研究の概要は以下のとおりです。

#### ① 研究の目的

腹部大動脈瘤に対してステントグラフト内挿術後に生じるタイプⅡエンドリーク（瘤から出る細い動脈の逆流により瘤内に血流が残ること）の IVR（カテーテル治療）の治療成績を全国で調査すること

#### ② 研究対象者

2007年1月1日から2017年12月31日までに当院でタイプⅡエンドリークに対して IVR を施行された患者様または当院においてステントグラフト内挿術を受けられた後にタイプⅡエンドリークを伴う瘤径増大が見られるものの、IVR を受けておられない患者様

#### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年3月31日まで

#### ④ 研究の方法

全国の施設より上記対象者の診療情報（CT画像、IVR実施状況等）を収集し、IVRの技術面と治療効果について検証する。

#### ⑤ 試料・情報の項目

年齢・性別、大動脈瘤径、使用されたステントグラフト種類、抗凝固・抗血小板薬服用の有無、タイプⅡELに対する治療回数、手技的成功の有無、待機的・緊急、治療適応、関与分枝、塞栓方法、塞栓物質、塞栓レベル、塞栓後評価、術後または経過観察後の瘤径変化

#### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について

上述の情報を連結可能匿名化して、研究代表機関である奈良県立医科大学放射線科に電子媒体（CD等）を介して提供します。情報と個人の対応表は本院で保管し提供しません。

#### ⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究総括責任者 奈良県立医科大学放射線科 医員 岩越 真一  
本院責任者 筑波大学放射線科 准教授 森 健作

#### ⑧ 研究機関名および研究責任者名

次項リスト参照

#### ⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線診断・IVR科・森 健作

電話・FAX：029-853-3205 メール：moriken@md.tsukuba.ac.jp

対応可能時間：平日9～17時

本研究の実施施設と各施設の研究者

1.	奈良県立医科大学附属病院	岩越真一
2.	聖マリアンナ医科大学付属病院	小川晋久
3.	東海大学附属病院	小泉 淳
4.	金沢大学附属病院	扇 尚弘
5.	鳥取大学附属病院	高杉昌平
6.	神戸大学附属病院	山口雅人
7.	沖縄中部病院	東浦 涉
8.	岩手医科大学附属病院	田中良一
9.	天理よろづ相談所病院	谷口尚範
10.	筑波大学附属病院	森 健作
11.	北里大学附属病院	ウッドハムズ玲子
12.	山梨大学医学部付属病院	荒木拓次
13.	名古屋市立大学病院	下平政史
14.	岐阜大学医学部附属病院	川田紘資
15.	兵庫県立姫路循環器病センター	川崎竜太